

# 流域治水がひろく川と人との関係

## 2020年球磨川水害の経験に学ぶ

嘉田由紀子編著 つる詳子・島谷幸宏・大熊孝ほか著

A5判 224頁 2420円（税込）

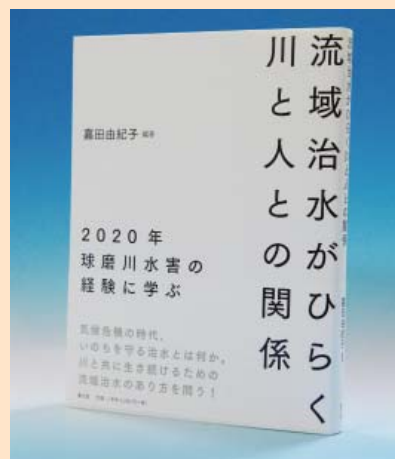
2021年4月、「流域治水関連法」が国会で成立しました。

温暖化が進み大規模水害が多発するなか、明治以来の「洪水を河川の中に閉じ込める」政策から、「溢れることを許容し、行政だけでなくあらゆる人たちがかわる」政策が提起されたのです。これは国の治水方針の歴史的転換です。

本書は、流域治水に関するさまざまな知見と、2020年7月4日九州球磨川水害の、被災当事者も加わった調査を紹介しています。

「……私たちはここで被災したが、これからも球磨川と共に生き続ける」。これは、本書企画の元となった第2回流域治水シンポジウム（2021年5月31日）で提案採択された地元参加者からの「球磨川宣言」の一部です。

明治以降の河川政策そして社会変化のなかで、川の問題は次第に限られた人たちのものととらえられるようになっていきました。本書は〈流域治水〉という視点から、川と人間の関係をあらためて検討しなおそうとするものです。「流域治水がひろく川と人との関係」というタイトルには、そんな意味も込められています。



カラー口絵 球磨川流域と2020年7月4日球磨川水害

第1章 2020年7月4日球磨川水害 現地溺死者調査の方法と経過

……嘉田由紀子（参議院議員、前滋賀県知事、環境社会学会元会長）

第2章 何が生死を分けたのか——現地溺死者調査の報告……つる詳子（自然観察指導員熊本県連絡会会長）／市花

由紀子（7・4球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会会員）／木本雅己（清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会事務局長）

球磨川宣言——私たちは被災してもなお川と共に生きる

第3章 球磨川の水害と流域治水……島谷幸宏（前九州大学大学院教授、現熊本県立大学特任教授、大正大学特命教授）

第4章 「流域治水」の歴史的背景、滋賀県の経験と日本全体での実装化にむけて……嘉田由紀子

第5章 流域治水に求められる専門家の視点……大熊孝（新潟大学名誉教授）／宮本博司（元淀川水系流域委員会委員長・

元国土交通省防災課長）／今本博健（京都大学名誉教授）

【注文書】 流域治水がひろく川と人との関係 2020年球磨川水害の経験に学ぶ		冊
11月20日発売 定価◎2420円（税込） ISBN：978-4-540-21216-1		
氏名（団体名）	〒住所（〒 — ）	
（ご担当者様）		
TEL.	FAX.	E-mail. @

農文協

一般社団法人 農山漁村文化協会 <https://shop.ruralnet.or.jp/>

〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1 TEL.03-3585-1142 FAX.03-3585-3668

●北海道支部（札幌）

TEL.011-271-1471 FAX.011-261-2809

●東海北陸近畿支部（大阪）

TEL.06-6962-0491 FAX.06-6962-4855

●東北支部（仙台）

TEL.022-262-5804 FAX.022-221-2235

●中国四国支部（岡山）

TEL.086-231-2693 FAX.086-232-0385

●関東甲信越支部（小山）

TEL.0285-27-3047 FAX.0285-27-6804

●九州沖縄支部（福岡）

TEL.092-586-6505 FAX.092-586-6507

●東海北陸近畿支部（名古屋）

TEL.052-746-2061 FAX.052-746-2063